

ピオクタニブルー（メチルロザニリン塩化物）の使用について

手術部位のマーキングや病変部位の染色等のためにピオクタニンという色素を用いることがあります。ピオクタニンは国内では医薬品として市販されていないため、当院ではピオクタニブルーという試薬を原料にして薬剤部が院内製剤で作成したものを使用しています。

ピオクタニンは海外の動物実験で経口的摂取した場合に発がん性が示唆されたとの報告がありましたが、医療現場では極少量の一時的な局所使用であり今まで発がんの報告はありません。そのため、リスクは低いと考えますが現時点では安全性が確立していないことから、本剤使用による患者さんの利益が不利益を上回ると判断する場合のみ、必要最小限の量を使用することとしています。

当院では使用の対象となる患者さんお一人ずつに説明を行い同意いただく代わりに、ホームページ及び病院掲示板に情報を公開することにより、ピオクタニブルー使用の同意取得とさせていただきます。なお、本件についてご不明な点などがありましたら主治医またはスタッフへお申し出ください。

社会医療法人仁愛会 新潟中央病院